

住民(患者)視点を含めたメリット・デメリットの整理

① 病院の設置運営からの視点

整理の視点	メリット	課題・デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ○ 西村山地域における医療機能の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分散している医療機能を集約して効率性を高めることで、将来の地域の医療ニーズに対応した、新たな医療提供体制を構築することができる。 ○ 新病院の診療体制や施設・設備の充実等により、医療従事者の勤務環境の魅力が向上し、医療従事者の確保が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 将来的な医療需要の予想を踏まえ、新病院の病床数等の規模と確保すべき医療機能を整理し、検討する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治体の財政負担 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化している病院の建替え時期が迫る中、新病院の整備で、病院再編として地域医療構想関連の補助や地方交付税措置上の病院事業債(特別分)の元利償還金に対する有利な支援を受けることができる。 ○ 自治体が地域の基幹病院の運営費用を共同して負担することになり、自治体の負担の軽減と平準化が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新病院の建設について、設置場所や県と自治体の財政上の負担割合の調整・検討が必要である。 ○ 県及び寒河江市以外の自治体の新法人における位置付けを検討する必要がある。

② 住民(患者)等からの視点

整理の視点	メリット	課題・デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ○ 西村山地域における医療機能の確保 ○ 住民の利便性 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西村山地域内で、高齢者に多い一般医療(救急も含む)にも十分対応できる病院が整備されることで、必要な医療を受けることができる。 ○ 急性期医療について、専門性の高い急性期機能を有する山形市内の病院との明確な役割分担を図ることで、迅速な救急搬送による対応が期待できる。 ○ 医療従事者にとって魅力的な医療施設を整備することで、医療従事者の確保につながり、住民が安定した医療を受けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新病院の立地場所によっては、現在の県立河北病院及び寒河江市立病院よりも、通院に要する時間が長くなることが想定される。 ○ 統合後の新病院における住民の交通アクセスを確保する必要がある。